

詳細 2

指導法	<ul style="list-style-type: none"> • チューター指導（講義、ワークショップ、E 授業） • グループ学習（グループ作業、セミナー） • 仕事ベースの学習（指導者・実施教育者） • 自己学習（作業学習セット、学習契約）
教材	プログラムハンドブック、モジュール学習ガイド、教科書、IT データベース、学習スペース・モードル（視覚的学習環境）
アセスメント	学術論文や文献レビュー、レポート、学習スペース・モードルによる確認・実習フォルダー等の広いアセスメント法を使用。レベル 4、5 で職場での実践スキルのアセスメント。
QAA 水準	<p>本専門についてレベル 4、5 の既存の QAA 水準はないが、一般的なファンデーション学位資格水準（QAA, 2004）が、必要な理論的・実践的技術がプログラムに組み込まれていることを確認するため、プログラム内で各モジュールの学習転帰に適用されている。</p> <p>このファンデーション学位は NHS 雇用可能技能に対し適用され、モジュール内容と論理的アセスメントの選択がファンデーション学位の範囲で適切でありプレイ・スペシャリストの役割に支援的であることを確認するため、NHS キャリア枠、チルドレンズ・ワークフォース・ネットワーク基準、レベル 3 の QCAKey 技能に添ったものである。</p>

コースの学術的要約（正式文書として）	<ul style="list-style-type: none"> • レベル 4 で 120 単位 • レベル 5 で 120 単位 • 数学、コミュニケーション、IT、自己学習および実践の改善、問題解決能力、他人との共同作業における QCA Key 技能(レベル 3)
--------------------	--

入学および卒業

入学条件技能	レベル2の読み書き・数学能力 レベル3のチャイルドケアおよび関連分野資格
入学基準	GCSE 数学・英語、もしくはそれと同等のレベル2以上の読み書き・数学能力 現時点でのレベル3以上の保育もしくは関連分野の資格 関連分野での2年間の就労経験 コミュニケーション能力 本分野における雇用およびボランティア活動証明 職場指導者として行動する正規プレイ・スペシャリストの身分証明および承諾
コース終了時の技能	有効で思慮深い実践的就労 有効なコミュニケーションスキル 有効なチームワークスキル レベル5のアカデミックライティング 能力に基づく実践的就労
キャリア	正規プレイ・スペシャリスト（保健）としてのHPSETの登録 NHS 上級管理ポスト レベル6終了時に大学院ステータス。大学院進学。

研究課題②—参考資料2 CLS, HPS, HPS Japan の資格認定過程の比較
報告：桑原和代

	CLS	HPS	HPS Japan
資格	Certified Child Life Specialist (CCLS) チャイルドライフ協会からの認定資格 1998年～	Hospital Play Specialist (HPS) イギリスの国家資格 1992年～	HPS Japan 学校教育法に基づく履修証明と資格認定
資格認定までのプロセス	<p>大学教育</p> <ul style="list-style-type: none"> - チャイルドライフ、小児発達学、心理学、教育学、社会学、レクリエーション学 などの関連分野の学部(学士レベル以上)を卒業 - 10講義以上のチャイルドライフに関連した大学レベルの講義(約30単位以上)を受講 - 480時間以上のインターンシップを経験 - チャイルドライフ認定機関(CLCC)による、CLS認定試験に合格すると、CCLS(Certified Child Life Specialist)と名乗ることができる 	<p>Further Studies に位置付けられており、国が定めた基準に従ってコントロールされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 1年間のコース(週1回) - 病院にて勤務経験がない人は、200時間の実習を受ける - 養成講座を修了するには、ポートフォリオ、実習、課題の提出が求められる。 <p>*入学条件</p> <ul style="list-style-type: none"> - 20歳以上であること - 3年以上の健康な子どもとのかかわり経験が要求される 	<p>離職者向け養成講座:26の授業を受講</p> <ul style="list-style-type: none"> 11日間×8時間 講義・演習 10日間×8時間 実習 口頭試問 (来年度から) 18日間×8時間 講義・演習 15日間×8時間 実習の予定 <p>*入学条件</p> <ul style="list-style-type: none"> - 保育士または看護師の資格を有する者 - 保育または医療現場等で実務経験がある - (現在、離職中である)
教育内容	<ul style="list-style-type: none"> - 小児・人間の成長発達 - 治癒的遊び - ストレス適応過程 - 家族システム - 育児支援 - 悲しみへの援助(グリーフケア) - 組織管理・運営 - コミュニケーション論、チーム医療 - 小児の疾患の基礎 - 心理学 - 研究、プロジェクト - 480時間以上のインターンシップ 	<p>Unit1:発達と遊びに関する理論と実践</p> <p>Unit2:HPSとしての専門的実践</p> <p>Unit3:病院や社会での社会性を促す遊び</p> <p>Unit4:治癒的遊び</p> <p>Unit5:プレイサービスの管理・運営</p> <p>Unit6:ホスピタルプレイ・プロジェクト</p> <p>200時間以上の実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> - HPSの歴史・役割 - 発達年齢に応じた遊びの展開とHPSの技術に関する理論と演習(プリパレイション、ディストラクション、痛みのコントロール、ガイドイメージ、リラクゼーション) - 現在の小児医療の現状とコメディカルスタッフの役割について - 遊びにおける大人の役割 - 病気と家族 - プロジェクト - 80時間の実習
資格取得後	<p>5年ごとに資格を更新(以下より選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 認定試験を受ける - 50時間以上、チャイルドライフに関連した教育的講義・セミナーに参加 	<p>5年毎 再登録 義務付け</p>	<p>更新制度なし</p>

②参考資料2：小児医療における各専門職種の役割の相違点

受講・受験資格 and/or 資格要件	資格や認定制度について	日本での資格保持者 (就業者)	資格取得までの 最低教育期間	認定機関 (関連団体)	奨励されている配置	小児医療の中での役割
<p>【資格要件】 1.厚生労働大臣の指定する保育士を養成する学校その他の施設を卒業した者 2.保育士試験に合格した者</p>	<p>【国家資格】 保育士試験（厚生労働省管轄で都道府県が実施する試験制度）に合格したもの</p>	<p>約 32 万 2000 名：平成 17 年常勤換算値 (1363 名：医療施設勤務・平成 17 年調査)</p>	<p>2-4 年 (独学除く)</p>	<p>厚生労働省 (日本保育士学会)</p>	<p>保育所における職員配置基準 0 歳児 3 人に保育士 1 人 1・2 歳児 6：1 3 歳児 20：1 4 歳児以上 30：1 (児童福祉施設最低基準)</p>	<p>児童福祉法において、「登録を受け、保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行う」保育とは、保護と教育が一体となり、乳幼児の成長・発達を促す活動で、保育士は、子どもの豊かな生活を保障し、発達を支援する役割をその専門性としている。</p>
<p>【受講資格】 日本医療保育学会に入会して1年以上、かつ保育士資格を持ち、日本医療保育学会の定めた医療現場で1年以上勤務したもの</p>	<p>【認定資格】 日本医療保育学会資格認定委員会による研修(5日間)を受け、論文・口頭試問に合格したもの</p>	<p>16名?</p>	<p>1-2年</p>	<p>日本医療保育学会</p>	<p>特になし</p>	<p>医療の必要な子どもの養護と教育(基本的な生活習慣の獲得のための支援・遊びや学習の支援)日常生活の支援プレレーションやディストラクションは含まれない。</p>
<p>【受講資格】 3年以上子どもと関わる仕事やボランティアの経験があるもの (ボランティアの経験時間や内容は要検討)</p>	<p>【認定資格】 子ども療育支援協会による研修を受け、必要な知識と実践能力(具体的な内容は検討中)を習得したと協会が認定したもの</p>	<p>N/A</p>	<p>1-2年</p>	<p>子どもの療育支援協会</p>	<p>1病棟に1人 約3000人/全国</p>	<p>病気や障がいを持つ子どもの成長発達を支援し、入院や治療にまつわるトラウマを軽減・緩和する援助を行う。子どもの発達段階や個別性に配慮しながら、子どもが自分の課題(治療その他)に主体的に取り組めるように環境を整える。子どもや家族の個々のニーズに応じた心理社会的支援を行う。</p>
<p>【受験資格】 大学の場合高卒以上、大学院の場合、大学卒以上。子ども関係のボランティア経験は重要視されている。 (高卒、大卒、大学院卒、有資格者など様々な学歴や社会経験の人が受講している)</p>	<p>【認定資格】 CLCによる認定資格 書類審査およびCLC(Child Life Council)の資格試験に合格したもの *5年ごとの更新が必要</p>	<p>25名(22名)</p>	<p>1-4年</p>	<p>child life council</p>	<p>子ども15~20人に1人</p>	<p>病気や障がいを持つ子どもの成長発達を支援し、入院や治療にまつわるトラウマを軽減・緩和する援助を行う。子どもの発達段階や個別性に配慮しながら、子どもが自分の課題(治療その他)に主体的に取り組めるように環境を整える。子どもや家族の個々のニーズに応じた心理社会的支援を行う。</p>
<p>【受験資格】 20歳以上の有資格者(看護師、医師、教師、ナーサラーなど子どもと関わる専門職)で、3年以上の就業経験のあるもの、カレッジ卒以上 *カレッジと同様の教育機関は日本にはないが、ひとつの専門領域についての技術教育を主とした教育機関。(高卒、大卒、院卒などさまざまな学歴の人が受講している)</p>	<p>【国家資格】 Edixel(国の試験官)、HPSET(Hospital Play Specialist Education Trust:ホスピタルプレイスペシャリスト教育機構)による書類審査に合格したもの *5年ごとの更新が必要</p>	<p>2名(6名)</p>	<p>1年 (受講前の経験によって長くなることもある)</p>	<p>HPSETとEdixel(National Association of Hospital Play Staff)</p>	<p>10床に1人</p>	<p>病気や障がいを持つ子どもの成長発達を支援し、入院や治療にまつわるトラウマを軽減・緩和する援助を行う。子どもの発達段階や個別性に配慮しながら、子どもが自分の課題(治療その他)に主体的に取り組めるように環境を整える。子どもや家族の個々のニーズに応じた心理社会的支援を行う。</p>

2011 年度

子ども療養支援協会

研修生募集要項

- 出願書類は本募集要項の後部に関係様式を用意していますので、印刷して御使用ください。
- 選考の内容等に関しては、下記ホームページもご参照ください。

子ども療養支援協会

<http://kodryoyo.umin.jp/>

【 目 次 】

- I 子ども療養支援協会 趣意書
- II アドミッションポリシー
- III 概要
- IV 研修生募集要項
 - 1. 出願資格
 - 2. 募集人員
 - 3. 出願書類
 - 4. 受験検定料
 - 5. 願書受付期間について
 - 6. 出願手続き
 - 7. 選抜方法
 - 8. 試験日時および試験場
 - 9. 合格者発表
 - 10. 受講開始時期
 - 11. 受講手続きの際に納付する経費等
 - 12. 注意事項
 - 13. 問い合わせ先
- V 提出書類

I 「子ども療養支援協会」設立趣意書

近年、我が国において、子どもの健全な心身の成長発達と幸福を考えるときに、「子どもの人権」の重要性が広く認識されるようになってきた。しかし、子どもの人権が守られているとはまだまだ言えない現状もあるのではないだろうか。

特に療養生活を送る子どもの人権はどうだろうか。入院生活において親に付き添って貰える権利、遊びと教育に参加する権利、子どもなりに病状や治療を理解し医療に主体的に参加する権利などが制約を受けてはいないだろうか。病気や障がいがあっても、子どもらしくのびのびと生活できるように子どもを支えていくために、遊びや精神的サポートを通して関わることに特化した専門家が不可欠であり、この専門家に対する需要は拡大してきていると思われる。

すでに米国ではチャイルド・ライフ・スペシャリスト (Child Life Specialist 以下 CLS)、英国ではホスピタルプレイスペシャリスト (Hospital Play Specialist 以下 HPS)がおり、それらの専門職には、教育制度と認定制度が確立され、学会組織も整備されている。現在のわが国には、外国で専門教育とトレーニングを受けてきた CLS、HPS が存在し、国内の病院等で働いているが、その数は総勢二十数名であり、療養している子ども達すべてを支援するには到底足りていないのが現状である。

そのような中で、「このような専門家の知識、技能の重要性を再認識する必要があるのではないか」という意見や「このような専門家による一定レベルの支援を療養する子どもたちのために広めたい」という要望が、全国の患者家族や医療関係者から多数寄せられるようになった。このような専門家の育成は、今こそ取り組まなければならない課題であると思われる。

そのためには、CLS、HPS がそれぞれの国に持っているような教育制度や認定制度を基に、療養生活を送る子どもの心理社会的支援を行うことに特化した専門家の養成制度を、我が国においても整備すべきではないかと考える。日本の文化・社会に沿った考え方や方法に従い教育・養成制度を整え、より専門性の高い人材の育成に取り組むたいと思う。

我が国におけるこの職種を、「子ども療養支援士」とし、同時に「子どもの療養支援協会」を立ち上げる。

たとえ病気や障がいがあっても幸福に生きることができる社会の実現に向けて、それを心理社会的にサポートする専門家の育成に向けて関係者の努力を集結すべきである。「子どもの人権の尊重」を日本社会に広く浸透させることを究極の目標としつつ、医師、看護師、医療保育専門士、心理士、教師などの多くの専門家との協働のもとに、まずは病気や障がいを持ち療養している子

ども達の人権の遵守を浸透させるべく、ここにその第一歩を踏み出す事を決意する。

II アドミッションポリシー

次のような資質と問題意識を持つ人材を対象として入学者選抜を行う。

(1) 専攻の専門に係わる諸問題を学際的に解決し社会に成果を還元したいという意欲を有していること。

いること。

(2) 社会において先導的役割を果たしたいという意欲を有していること。

(3) 柔軟な発想力，基本的なコミュニケーション能力，幅広い教養を有していること。

(4) 社会人にあっては、職場や地域社会での経験，問題意識を理論的に進化・体系化させた

い

という意欲を有していること。

III 概要

子どもの健全な心身の発達と幸福を考えると、子どもの権利をいかに尊重するか、という視点が小児医療の現場でもますます重要視されつつある。特に欧米においては、遊びや精神的なサポートを通じて子どもと関わることに特化した専門家、チャイルド・ライフ・スペシャリスト（以下、CLS：Child Life Specialist）やホスピタルプレイスペシャリスト（以下、HPS：Hospital Play Specialist）が病児に身近な存在として一般的に普及している。

しかし、日本においては、それに準ずる専門職が存在していないなど、適切な心のケアを提供できる小児医療環境が十分ではない。現状では海外で専門教育を受けたCLS、HPSが病院等で活躍するものの、その数は20数名規模となっている。

本養成講座は140時間の講義に加え、CLS、HPSの働く病院で最低700時間以上の実習を必須としている。上記課程を履修終了後、一定基準以上の評価が得られた者を「子ども療養支援士」として資格認定を行う。

「子ども療養支援士」の主な役割

- ・ 病気や障がいを持つ子どもの成長発達を支援し、入院や治療にまつわるトラウマを軽減・緩和

する精神的なサポートを行う

- ・ 子どもの発達段階や個別性に配慮しながら、自分の課題（治療その他）に主体的に取り組めるように環境を整える
- ・ 子どもや家族の個々のニーズに応じた心のケアに特化した活動を行う

子ども療養支援士 認定コース 講義予定表

(講義名及び日程は変更となる可能性があります)

前期 (2011/4/11～22) 全日程 9:00～16:00

日時	講座名	講師名	時間数
4/11 (月)	オリエンテーション&子ども療養支援概論 I	藤井あけみ	6
4/12 (火)	子どもの発達	井原成男	6
4/13 (水)	発達のアセスメント/記録方法	田中恭子	6
4/14 (木)	医療環境における子どもと家族	鈴木敦子/小林信秋	6
4/15 (金)	ストレスコーピング/医療安全	平田美佳	6
4/18 (月)	遊びと環境	鈴木裕子	6
4/19 (火)	治癒的遊び I	三浦絵莉子	6
4/20 (水)	プレパレーション&ディストラクション	桑原和代(3)/井上絵未(3)	6
4/21 (木)	病院システム/医学情報	蝦名美智子/林 富	6
4/22 (金)	医療における子どもの人権/子ども療養支援士の使命と展望	増子孝徳(4)/藤村正哲(2)	6

* 合計講義時間数：60 時間

* () 内はそれぞれの時間数

後期 (2011/9/26～10/7) 全日程 AM9:00～16:00

日時	講座名	講師名	時間数
9/26 (月)	プレパレーション&ディストラクション II	井上絵未(3)/桑原和代(3)	6
9/27 (火)	治癒的遊び II	山地理恵	6
9/28 (水)	療養環境	松井基子	6
9/29 (木)	グリーンケア	伊藤麻衣/花谷香織	6

9/30 (金)	家族・兄弟姉妹の支援	石田智美	6
10/3 (月)	研究方法	田中恭子	6
10/4 (火)	子どもとおもちゃ	多田千尋	6
10/5 (水)	プログラムの運営・管理	世古口さやか	6
10/6 (木)	特別講義「多職種と連携するためには」	中村嵩江/及川郁子	6
10/7 (金)	まとめ&子ども療養支援概論Ⅱ	藤井あけみ	6

* 合計講義時間数：60 時間

* () 内はそれぞれの時間数

子ども療養支援士 認定コース マンスリーセッション予定表

日程：2011年～2012年、該当月の第4土曜日 12:00～18:00

時間数：6時間（1日）×8回＝48時間

内容：ケーススタディ、ディスカッション、ロールプレイ、病院見学など

場所：東京、大阪他

担当：調整中

日時：5/28、6/25、7/30、8/27、10/29、11/26、1/28、2/25

子ども療養支援士 認定コース（実習）

実習先：大阪府立母子保健総合医療センター、順天堂大学医学部附属順天堂医院、他。

実習担当：後藤真千子、早田典子、他。

実習時間：700時間以上とする。

<実習のねらい>

- ・ 人間の成長と発達、家族のダイナミクス、文化的背景に関する理論的根拠に基づいて、子どもや家族のニーズをとらえて分析し、子どもや家族とコミュニケーションを取る能力を習得する。
- ・ 新生児から青少年期にいたるあらゆる年齢層の子どもについて、個人またはグループで安全に治癒的遊びができる環境を提供する能力を習得する。
- ・ 子どもとその家族が、入院や、親子分離、罹患、死との直面などから生じるストレス状態にあるとき、ストレス軽減に向けた支援を行う能力を習得する。

(ストレスコーピング・プレパレーション・ディストラクション・グリーフケア・家族支援・兄弟姉妹支援)

- ・ 多職種の役割を理解すると共に、多職種に子ども療養支援士の専門職としての役割を具体的に説明し、子ども療養支援士の活動を小児医療の一環として組み入れることを学ぶ。
- ・ 子ども療養支援士の専門職としての役割、および小児医療における心理社会的問題について第三者に説明し、伝える能力を習得する。
- ・ ボランティア等を監督し、支援する能力を習得する。
- ・ 子ども療養支援士の活動を評価する能力を習得する。

IV 募集要項

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学士以上（卒業見込み者）
または
- (2) 子どもに関わる職業に従事していた者（医療機関での経験があることが望ましい）

2. 募集人員

4名

3. 出願書類

1	入学願書	本協会所定の用紙に、所定事項をもれなく記入すること。
2	照合票・受験票	本協会所定の用紙に、所定事項をもれなく記入の上、写真を貼ること。
3	卒業（見込）証明書	最終出身大学等が発行したもの。
4	学士の学位（見込）証明書	大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者（見込）のみ提出すること（出願資格（1）により出願する者のみ）。
5	履歴書	本協会所定の用紙に、所定事項をもれなく記入の上、写真を貼ること。

6	推薦状	出身大学、職場等から2通。
7	受験票返送用封筒	市販の封筒（大きさ：長形3号120mm×235mm）に氏名・住所及び郵便番号を明記し、郵便切手（90円）を貼ること。
8	入学検定料振込み控え	本要項の後部にある用紙の所定欄に、必要事項を記入のうえ、銀行振込み控えを貼付して提出すること。
9	小論文	テーマについては、次ページ参照。 400字詰め原稿用紙または、A4用紙（297×210mm）に記入。（ワープロ可）

4. 受験検定料

受験検定料 20,000 円

① 受験検定料を願書提出時に、下記の指定口座へ振り込むこと

銀行名：みずほ銀行 本郷支店

口座番号：（普）2813671

口座名：「子ども療養支援協会」

振込み手数料は志願者で負担すること

一度納入された検定料は、理由内容に関わらず返金しない

振込み名は、志願者と同一にすること

②本要項の後部にある「受験検定料振込み控え」に必要事項を記入し、銀行振込み控えを貼付して提出すること。送付された銀行振込み控えは返却しないので、必要であればコピーをとっておくこと。

5. 願書受付期間について

2010年12月13日（月）から2011年1月21日（金）17時まで（郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと）

6. 出願手続き

(1) 出願者は、前記の出願書類を願書受付期間に、子ども療養支援協会事務局に郵送すること。

(宛先) 子ども療養支援協会事務局

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 順天堂大学医学部小児科・思春科科内

担当：田中恭子 早田典子

(2) 郵送は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「子ども療養支援協会 入学願書」と朱書きすること。

7. 選抜方法

選抜は、2次に渡って行う。第2次選考は、第1次選考で合格した者のみ行う。

(1) 第1次選考 書類選考および小論文

小論文のテーマ

①自分の強さと弱さについて

②子どもにやさしい医療とは

各々のテーマについて 600 字～800 字で述べなさい。

(2) 第2次選考 面接および小論文 (テーマは当日発表)

8. 第2次選考 試験日時および試験場

年 月 日	時 間	試 験	試 験 場
2011年2月19日(土)	15時～16時	小論文	順天堂大学
2011年2月20日(日)	10時～15時 (約30分)	面接	本郷キャンパス

9. 合格者発表

	年 月 日	通 知 方 法
第1次選考	2011年1月30日(日)	電話により通知する。なお、合格者発表に関する電話等での問い合わせに一切応じない。
第2次選考	2011年2月21日(月) ～25日(金)	郵送により通知する。なお、合格者発表に関する電話等での問い合わせに一切応じない。

10. 受講開始時期

2011年4月1日(実際の講義開始は、4月11日～)

11. 受講手続きの際に納付する経費等

受講料 250,000 円

12. 注意事項

- (1) 願書受理後は、記載事項の変更を認めない。また、検定料の払戻しは行わない。
- (2) 受験票未着の場合は、試験前日までに子ども療養支援協会事務局に申し出ること。
- (3) 出願書類は、原則として返却しない。

13. 問い合わせ先

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 順天堂大学医学部小児科・思春期科内
 子ども療養支援協会事務局担当 田中恭子 早田典子
 TEL: 03-3813-3111 Fax:03-5800-0216

子ども療養支援士認定コース 2011年度

受講願書

西暦 年 月 日

氏 名

西暦 年 月 日生

2011年度 子ども療養支援士認定コースを受講したいので、関係書類を添えて出願します。

ふりがな 氏 名	男 ・ 女	※1 受験 番号	第 号
最終学歴	教育機関名： (学部 学科) 西暦 年 月 卒業 卒業見込		
現住所 (連絡先)	(〒 -) 電話番号 () - () - () 携帯電話 () - () - () E-mail:		
本籍 (都道府県のみ)	()		

○※1欄は記入しないこと。

履歴書

ふりがな 氏名 西暦 年 月 日生 男・女	<p style="text-align: center;"><u>写真貼付欄</u></p> 最近3カ月以内に撮影した 写真（正面上半身脱帽）を 貼ること。 (タテ4cm×ヨコ3cm)
-------------------------------------	--

学 歴 (高等学校卒業より記入すること。)	
西暦 年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
職 歴	
西暦 年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

(注) 学歴・職歴の欄には、出願時の身分がはっきりするように記入すること。

(2011年度子ども療養支援士認定コース)

志望の動機 (400字以内で記入すること)

受 験 票

※受験番号	第 号
志望コース	2011年度子ども療養支援士認定コース
ふりがな 氏 名	西暦 年 月 日生

注意

1. ※欄は記入しないこと。
2. 受験票は、試験中必ず携行すること。
3. 受験票を所持しない者は、試験場に入ることができない。

受講検定料振込み控え

氏名

銀行振込み控えをここに貼付すること

研究課題③：参考資料-2：子ども療養支援士 養成プログラム 講義予定表

前期 (2011/4/11～22) 全日程 9:30～16:30

日時	講座名	講師名	時間数	備考
4/11 (月)	10時～オリエンテーション	田中恭子	2	
	子ども療養支援概論 I	後藤真千子	3	
4/12 (火)	発達アセスメント 記録方法	田中恭子	6	
4/13 (水)	治癒的遊び	三浦絵莉子	6	
4/14 (木)	医療環境における子どもと 家族	鈴木敦子(3)/ 福島慎吾(3)	6	
4/15 (金)	ストレスコーピング／	平田美佳	4	
4/18 (月)	子どもの心理発達	井原成男	6	
4/19 (火)	遊びと環境	鈴木裕子	6	
4/20 (水)	プレパレーション&ディス トラクション	桑原和代(3)/ 井上絵未(3)	6	
4/21 (木)	病院システム・医学用語 医療安全	平田美佳 蝦名美智子	4	
4/22 (金)	医療における子どもの人権 ／子ども療養支援士の使命 と展望	増子孝徳(4)/ 藤村正哲(2)	6	

* 合計講義時間数：57 時間

* () 内はそれぞれの時間数